

北信濃里山通信 vol.10

2013年2月15日発行

お知らせ

「定期総会」と「北信濃の生きものデジカメ撮影講座」の開催

事務局

本年度の当会の事業実績と来年度の事業計画を協議いただくため、以下のとおり「定期総会」を開催します。

また、同日、北信濃の自然風景・ギフチョウやオオルリシジミなど希少種をはじめ生きものたちを写真として記録に残す呼びかけを行い、今後の里山保全に活かすことを趣旨として「北信濃の生きものデジカメ撮影講座」を開催します。ふるって御参加ください。

- 1 開催期日 平成25年3月16日（土）
- 2 開催場所 飯山市公民館（飯山市飯山 1436-1）
- 3 日程

(1)「定期総会」

- 10:30～ 受付
- 11:00～ 開会、あいさつ、議事
- 12:00 閉会

(2)「北信濃の生きものデジカメ撮影講座」

- 13:00～ 受付
- 13:30～ 開会、あいさつ
- 13:35～ 今後のオオルリシジミの保全活動、飯山市の生物多様性保全計画について（当会事務局、飯山市教育委員会）
- 13:50～ 北信濃の生きもの写真談話（北信濃の里山を保全活用する会・花崎会員）
- 14:20～ 休憩
- 14:30～ デジカメ撮影講座：栗田貞多男さんによる生きものの写真の撮り方教室
- 15:30～ 自由交流（相談コーナー、写真展示の解説など）
- 16:00 閉会



オオルリシジミの迫力ある写真を・・・

- 4 参加費 無料

- 5 持ち物 各自お使いのデジカメを持参してください。適当な被写体を用意します。（被写体：オオクワガタなど・・・催し後、「じゃんけん」で子供にプレゼント。）

6 申し込み方法

飯山市公民館・飯山市教育委員会生涯学習課（TEL：0269-62-3342）へ3月8日までに申し込んでください。

7 その他

会員から飯山の自然の写真をあらかじめ募集し、当日、会場に展示したいと思います。御自慢の写真のある方は飯山市公民館事務局までお届けいただくか、写真データファイルを電子メール（E-mail：kouminkan@city.iiyama.nagano.jp）で送信してください。

当会ホームページ：「Neake（根開け）」を開設しました。

前号でもお知らせしましたとおり、昨年末に「北信濃の里山を保全活用する会」オリジナルのホームページ「Neake」を開設、公開しています。パソコン・インターネットを使える方は、アクセスしてみてください。URL（アドレス）：<http://kitashinano-neake.com/> で、トップページにつながります。

The screenshot shows the homepage of 'Neake' with several callout boxes:

- Neakeとは……**: Points to the 'Neakeとは……' section on the left, which includes a photo of a forest and text about '根開け' (root clearing) and snow holes.
- トップページ**: Points to the top navigation bar.
- ごあいさつ**: Points to the 'ごあいさつ' (Welcome) section, which includes a message from the president, Mr. Inoue, and a list of activities.
- 会員募集**: Points to the '会員募集' (Recruitment) section, which includes an application form and a list of past activities.

トップページの上端タイトルの下に「Neakeとは……」、「ごあいさつ」、「ギャラリー」、「会員募集」、「お問い合わせ」のリンクがあり、クリックすると各項へ移動します。

- 「Neakeとは……」: ホームページタイトル「根開け」の解説（北信濃の里山の春の風物詩）。
- 「ごあいさつ」: 当会の活動スタンス、オオルリシジミの解説・保護活動の概要など。
- 「ギャラリー」: 現在整備中……。
- 「会員募集」: 入会方法、会の沿革と過去に発行した当紙「北信濃里山通信」の掲載。
- 「お問い合わせ」: 事務局への連絡先（メール）。

トップページ中段には「Information」と「HeadLine」の項があり、会からのお知らせや「ブログ・北信濃里山通信」の掲載記事を紹介しています。

ホームページは以上で構成されています。今後、会員の方々からも協力いただきながら、北信濃の里山の自然風土・生きもの、文化・人の営み……など発信したいと考えています。みなさまの創意工夫により充実させていきたいと思っておりますので、御意見などお願いします。

活動報告など

事務局

・オオルリシジミ生息地の環境整備

2012年、積雪前の最終作業として11月10日、保護区設営ロープ・看板撤去を実施しました。小雨がぱらつく中でしたが、参加者4人で作業を敢行・・・雨が本降りになる昼前に何とか撤去作業を終え、この日は撤退です。

11月24日はアカマツ・カラマツの伐採、カヤ刈り取りを7名で実施しました。この日も、午後から天気が崩れるとのことで、午前中、生息地の下部エリアを中心に作業、昼は豚汁を囲んで暖をとり、解散しました。

続きはまた、雪解け後の春に実施します。



伐採作業の様子です。

・戸狩スキー場でのカヤ採取

11月17日、戸狩スキー場のカヤ（ススキ類）の刈り取りを、古民家修復を請け負う会社・「修景事業」と提携して実施しました。カヤの枯れ込み具合は昨年よりも良く（青刈りはNG）、トラック1台分のカヤを採取。オオルリシジミ生息地のものと合わせ、納品しました。1日では採れる量もわずかであるため、カヤの質を確かめながら、採取規模を増やし、数年後には収益を捻出できるようにしたいと思います。

「カヤ場再生と利用」→「オオルリシジミの生息環境創出と定着化」→「スキー場・地域の活性化」にうまくつながっていければ・・・です。



刈り取ったカヤを選別、結束して運び出します。

・「長野県環境保全研究所・平成24年度公開セミナー」の開催

12月1日、飯山市民館で「北信濃・いいやまの自然といのち ～その遺産を未来につなぐ～」をテーマに県環境保全研究所主催の平成24年度公開セミナーが開催されました。

当日は、今シーズン初めて市街地でまとまった雪が降り、積雪の悪路の中でしたが、約80名の参加者がありました。

セミナーでは、4題の講演があり、そのうち当会からは井田会長と福本事務局長が講演しました。

井田会長は「飯山の森と里の命のにぎわい」と題し、豪雪地飯山でたたかに生長する「ブナ」と「カタクリ」の生き様について解説されました。福本事務局長は「オオルリシジミ保全活動」として、保全の必要性と課題、それを地域づくりにつなげるための取り組みなどを発表しました。

環境保全研究所からは大塚孝一さんによる「ナベクラザゼンソウの不思議」、浜田崇さんによる「多雪地の飯山と気候変化」と題した講演が行われました。ナベクラザゼンソウの鍋倉山での発見の経過や生態（発熱植物であること！）、温暖化により飯山の積雪量の変化予測や自然に及ぼす影響など、興味深いお話を聞くことができました。

来場者からは、「棚田の保管理をどうするか?」、「飯山でのヒメギフチョウの減少要因」、「オオルリシジミの食草クララの土壤環境面での生育条件」・・・などの質問が出され、活発な議論が行われました。



講演する井田会長(上)とセミナー参加者(下)

・「生物多様性地域連携促進セミナーin長野」への参加

1月19日、塩尻総合文化センターで表題のセミナー（環境省主催）が開催され、飯山市教育委員会の月岡伸太郎さんが『希少なチョウの舞う里山「いいやま」』と題し、地域での活動事例の発表を行いました。発表では当会の活動紹介をまじえ、飯山の生物多様性に対する「意識」、「自慢」、「課題」、「未来」の共有を市民に図っていくことを説明されました（右の写真）。

最後に、活動事例を元に地域連携の進め方についてパネルディスカッションが行われ、連携組織での情報共有の重要性などを確認しました。

なお、本セミナー開催結果の詳細については、環境省ホームページ（報道発表資料）に掲載されていますので、御覧ください。・・・以下 URL

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=16250>



当会オリジナル「クリアファイル」ができました！

SAVE JAPAN プロジェクトの助成、長野市内の出版社「オフィス・エム」の協力により「北信濃の里山を保全活用する会」オリジナルのクリアファイルを作成中でしたが、このたび、ようやく完成しました（右の写真）。

北信濃の里山の木々をイメージして、とってもおしゃれなデザインに仕上がっています（井田会長談）。

これからの会のイベント等でノベルティグッズ（宣伝用記念品）として配布し、活用していきたいと思います。

クリアファイルは、今回、本紙の発送とともに会員にお届けしますので、会のPRなどお願いします。



編集後記

事務局

まだまだ寒い日が続きますが、春・活動シーズンも間近となりました。定期総会に向け、2013年の会の活動計画などを立案中です。また、飯山市では生物多様性保全計画策定書「知ろう！ つなごう！ いいやま流自然の恵み保全（仮称）」を作成中で、イラストを多用して親しみやすい家庭向けの啓発冊子として、3月中に発行予定です。これにより一般の方々の会への関心が集まり、活動にますます活気が出れば・・・というところです。

定期総会とあわせて「デジカメ写真講座」を企画しましたが、会員の方々のシーズンが始まる前のモチベーションアップになれば・・・と思います。講師としてお招きする写真家の栗田貞多男さんは、数々の著作の中、「ゼフィルスの森」や「オオムラサキ」に代表される蝶の写真集も発行されていますので、参加者に生きものの写真の魅力が伝わることを期待しています。

当会のホームページ・ブログが開設されたこともあり、会員が撮影した北信濃の生きものたちの息吹を写真で発信できればと思います。会員のみなさまの協力をお願いします。

発行者：北信濃の里山を保全活用する会	会長 井田秀行
事務局：〒389-2253	飯山市大字飯山1 4 3 6 - 1
	飯山市公民館内
TEL：0269-62-3342	FAX：0269-62-5940
E-mail： kouminkan@city.iiyama.nagano.jp	
編集者・事務局長：福本匡志	